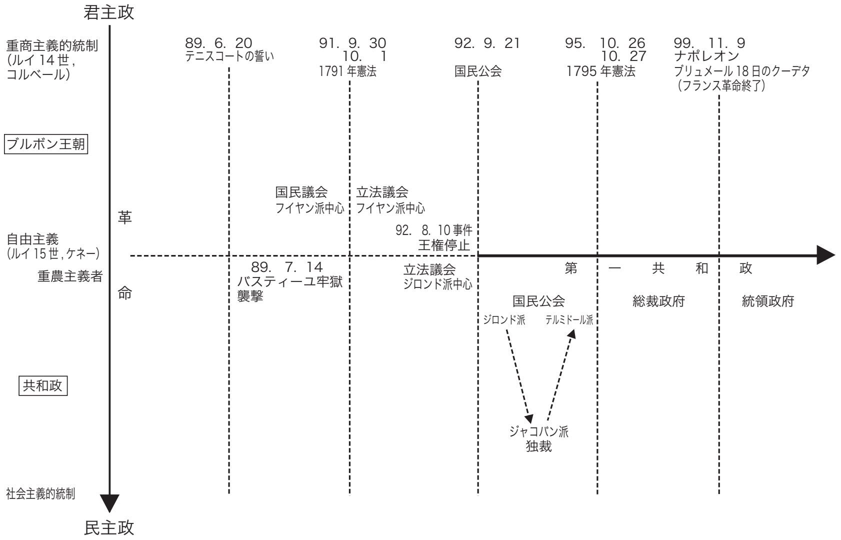
第10講
フランス革命とナポレオン

〔1〕フランス革命



革命への展開（テュルゴー・ネッケルの改革の不調）

『**第三身分とは何か**』（1789.　聖職者**シェイエス**）

全国三部会の招集（1789.5.　ヴェルサイユ宮殿）…ルイ13世（1615）以来の招集

身分別議決法を巡り特権身分と第三身分の対立

第一身分…聖職者

第二身分…貴族

第三身分…平民

①**国民議会**〔1789.6 ～ 1791.9〕

指導者：**ミラボー**（貴族）

球戯場（テニスコート）の誓い

・**憲法の制定**を目標とする

バスティーユ牢獄襲撃（1789.7/14）…革命勃発

封建的特権の廃止（8/ 4）

『**人権宣言**』…**ラ=ファイエット**による起草（8/26）

アシニア紙幣の発行（教会財産の没収）．ギルド制の廃止

ヴェルサイユ行進…国王（テュイルリー宮殿）・議会をパリに移す

ヴァレンヌ逃亡事件（1791）

・**ミラボー**の死（1791）

・**ルイ16世**・王妃**マリ=アントワネット**．オーストリアへ逃亡・失敗

・ピルニッツ宣言（1791）

1791年憲法制定（1791）　→　**立憲君主政へ**

②**立法議会**〔1791.10 ~ 1792.9〕
・立憲君主派…**フイヤン派**
・共和主義派…**ジロンド派**（穏健派）・**ジャコバン派**（急進派）
ジロンド派内閣（1792）のもとで革命戦争
・**義勇兵**のパリへの参集　**ラ＝マルセイエーズ**
８月10日事件（1792）
・**サン＝キュロット**らによるテュイルリー宮殿襲撃
・**王権の停止**宣言
ヴァルミーの戦い（1792）…義勇軍が革命戦争で初勝利

③**国民公会**〔1792.9 ~ 1795.10〕 ≪**第一共和政**（1792 ~ 1804）≫
国民公会の成立（普通選挙）
ジャコバン派台頭
ルイ16世・マリ＝アントワネットの**処刑**（1793）
第１回対仏大同盟（1793 ~ 97）…英首相**ピット**の提唱
ジャコバン独裁（1793 ~ 94）… “**恐怖政治**”（1793.6 ~ 1794.7）
ジロンド派議員の追放
公安委員会（行政）・保安委員会（治安）・革命裁判所による革命政治
・**徴兵制**の実施（1793）　→　ヴァンデーの反乱
・**最高価格令**（1793）…生活必需品・賃金の統制
・**1793年（ジャコバン）憲法**（1793）…実施されず
・**男子普通選挙制**
・**封建地代の無償廃止**（1793）
・国家宗教（理性崇拝，キリスト教の廃止）・**革命暦**・**メートル法**
ロベスピエール（ジャコバン派）の独裁
・**テルミドール**の反動（1794）　→　ロベスピエールの逮捕・処刑
1795年憲法

④**総裁政府**〔1795.10 ~ 1799.11〕
バブーフの陰謀
軍人**ナポレオン＝ボナパルト**の台頭
イタリア遠征（1796 ~ 97．第１回）…墺に勝利
エジプト遠征（1798 ~ 99）…英＝インド間の遮断
・**ロゼッタ＝ストーン**発見
第２回対仏大同盟（1799 ~ 1802）…英首相**ピット**の提唱
ブリュメール18日のクーデタ（1799）
ナポレオン…孤立したエジプトを脱出しパリで総裁政府を打倒

〔2〕ナポレオン時代

統領政府〔1799.11 ～ 1804.5〕

アミアンの和約（1802．対　英）…第２回対仏大同盟　解体

コンコルダート（1801．宗教協約）…ローマ＝カトリックの復活

ナポレオン法典（1804．**フランス民法典**）

第一帝政〔1804.5 ～ 1814・15〕

ナポレオン１世に就任（国民投票）

第３回対仏大同盟（1805）…英首相ピットの提唱

トラファルガーの海戦（1805）

英海軍（**ネルソン**提督）に大敗

アウステルリッツの戦い（1805.12．三帝会戦）

・墺（フランツ２世）・露（アレクサンドル１世）連合軍を撃破

ライン同盟の結成（1806）

・神聖ローマ帝国の消滅

大陸封鎖令（1806）…英の経済的孤立化

ティルジット条約（1807）…ウェストファリア王国・ワルシャワ大公国　建設

兄ジョゼフ…ナポリ王（後にスペイン王兼任）

弟ルイ…オランダ王　・弟ジェローム…ウェストファリア王

各国の民族意識の高揚

・**国民意識**・ナショナリズムの芽生え

プロイセン改革

『ドイツ国民に告ぐ』

…**フィヒテ**の連続講演

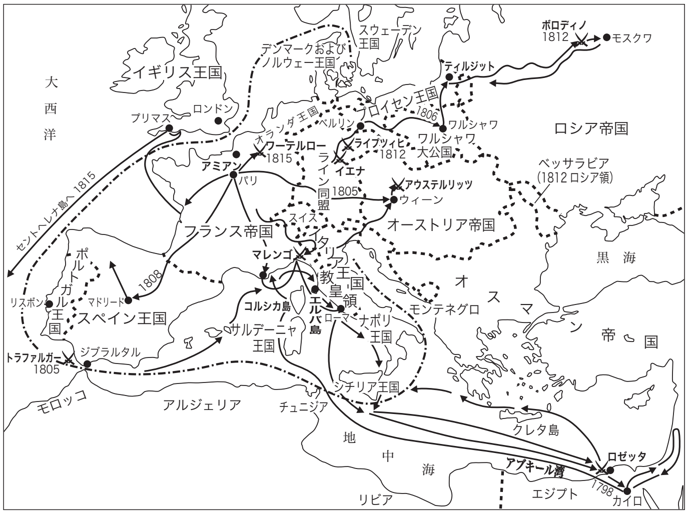
（1807 ～ 08）

シュタイン・

ハルデンベルクの改革

・**農民解放**（1807）

スペイン反乱（1808 ～ 14．半島戦争）



ナポレオン時代のヨーロッパ

ナポレオンの没落

ロシア（モスクワ）遠征（1812）

遠征の失敗

第４回対仏大同盟（1813 ～ 14）

解放戦争（1813．**諸国民戦争，ライプツィヒの戦い**）

露普墺の連合軍に大敗　→　ナポレオン１世の退位・**エルバ島**へ流刑

ブルボン朝復活（1814）…**ルイ18世**の即位

ウィーン会議（1814 ～ 15）…フランス革命・ナポレオン戦争の処理

ナポレオンの復位（1815．エルバ島脱出）

ワーテルローの戦い（1815）

・英（ウェリントン）・普蘭連合軍に大敗

・**セントヘレナ島**（南大西洋）への流刑　→　ルイ18世復位

第10講　確認問題

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　アメリカ独立宣言は①ルソーの思想的影響と植民地時代の体験とを基に，②トマス＝ジェファソンらが起草し，人間の自由・平等，圧政に対する反抗の正当性を主張したもので，③フランス革命の④人権宣言とともに，近代民主政治の基本原理が述べられている。

2　フランス革命時の①国民公会は，②1789年7月14日に③バスティーユ牢獄を襲撃し，続く８月４日に自由主義的貴族の提案で④封建的特権の廃止を決定した。

3　①1792年春には②ジャコバン派が政権を握り，革命に敵対的なオーストリアに宣戦した。1791年８月，すでにオーストリアは③プロイセンと共同でルイ16世の救援を各国君主に呼びかけていた（④ピルニッツ宣言）。

4　①1805年，イギリス・ロシア・オーストリアなどは②第３回対仏大同盟を結成し，10月には③ウェリントンの率いるイギリス海軍がフランス海軍を④トラファルガーの海戦で破った。

5　ナポレオンは，ヨーロッパ大陸では①オーストリア・ロシアの連合軍を②アウステルリッツの戦いで破り，③1806年，自らの保護下に西南ドイツ諸国を併せ④ドイツ連邦を結成した。

6　ナポレオンは，①プロイセン・ロシアの連合軍を破って②ティルジット条約（1807年）を結ばせ，③ポーランド地方に④北ドイツ連邦を建てるなど，大陸をほとんどその支配下においた。

7　ナポレオンの征服によって，①スペインで反乱が起こり，また②オーストリアでは，③シュタイン・ハルデンベルクらが④農民解放などの改革を行った。

8　ナポレオンは，①ロシアが大陸封鎖令を無視して②アメリカに穀物を輸出すると，③1812年に大軍を率いてロシアに遠征したが，④失敗に終わった。

9　①1815年３月，ナポレオンはパリに戻って皇帝に復位したが，６月に②ワーテルローの戦いで大敗し，③南太平洋の④セントヘレナ島に流された。

解答

1　①→ロック　2　①→国民議会　3　②→ジロンド派
4　③→ネルソン　5　④→ライン同盟　6　④→ワルシャワ大公国
7　②→プロイセン　8　②→イギリス　9　③→南大西洋